

人間健康学部 健康栄養学科							
氏名	西山 一朗	職名	教授	専攻分野	生化学	学位名	理学博士
主要業績（著書・研究論文併せて5点以内）							
<p>（著書）</p> <p>“Fruits of the Actinidia genus” in <i>Advances in Food and Nutrition Research</i>, vol 52, Academic Press, May, 2007 （単著）</p> <p>『育てて楽しむキウイフルーツ 栽培・利用加工』 創森社、2018年4月（共著）</p> <p>（研究論文）</p> <p>“Varietal difference in vitamin C content in the fruit of kiwifruit and other Actinidia species” <i>Journal of Agricultural and Food Chemistry</i>, vol. 52(17), August, 2004（共著）</p> <p>“Genotypic difference in chlorophyll, lutein, and <math>\beta</math>-carotene contents in the fruits of Actinidia species” <i>Journal of Agricultural and Food Chemistry</i>, vol. 53(16), August, 2005（共著）</p> <p>“Sugar, sugar alcohol, and organic acid composition of fruit of different Actinidia varieties” <i>Food Science and Technology Research</i>, vol.14(1), February, 2008（共著）</p>							
最近5年間の業績（2018年度～2022年度）							
<p>（著書）</p> <p>『育てて楽しむキウイフルーツ 栽培・利用加工』 創森社、2018年4月（共著）</p> <p>（研究論文）</p> <p>「デワノマタタビ果実の成分特性」『駒沢女子大学研究紀要【人間健康学部・看護学部編】』第1号、2018年12月（単著）</p> <p>「キウイフルーツ等マタタビ属果実における総ポリフェノール含量および DPPH ラジカル消去活性の種間ならびに品種・系統間差異」『駒沢女子大学研究紀要【人間健康学部・看護学部編】』第1号、2018年12月（共著）</p> <p>「キウイフルーツ果実に含まれる栄養・機能性成分」『果実日本』第74巻、第7号、2019年7月（単著）</p> <p>「キウイフルーツ果実に含まれる栄養・機能性成分」『果実園芸』第72巻、第7号、2019年7月（単著）</p> <p>「‘マイクロトマト’果実の成分特性」『駒沢女子大学研究紀要【人間健康学部・看護学部編】』第2号、2019年12月（共著）</p> <p>「キウイフルーツ果実からソラレン等のフロクマリンは検出されない」『駒沢女子大学研究紀要【人間健康学部・看護学部編】』第3号、2021年3月（共著）</p>							

「キウイフルーツ果実におけるアクチニジンアイソザイム組成の品種/系統間差異」『駒沢女子大学研究紀要【人間健康学部・看護学部編】』第4号、2022年3月（共著）

「サルナシ果実に含まれるアクチニジン様酵素の精製」『駒沢女子大学研究紀要』第29号、2023年3月（共著）

（その他）

「キウイフルーツについて — 果実の特徴および機能性 —」 三鷹市果樹組合キウイフルーツ協会部講習会，2019年9月（単独）

「キウイすごいぜ！ 美と健康に役立つキウイ博士のちょっといい話」 全国商工新聞，2019年12月2日～2020年7月6日（30回連載）（単独）

「再注目のキウイフルーツ — 免疫力維持・増進の可能性 —」 キウイフルーツ・プレスセミナー，2020年6月（単独）

『キウイフルーツにソラレンが含まれる』という話は完全な間違いだった」 ゼスプリ・メディアセミナー，2020年8月（単独）